

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 32 No. 2 (通巻 85 号)
2020 年 8 月 15 日

～第 40 回大会案内号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 増田佳昭
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階
一般社団法人日本協同組合連携機構内 日本協同組合学会事務局
TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761
E-mail: kyodo-gakkai@japan.coop
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

日本協同組合学会 第 40 回大会のご案内

開催日: 2020 年 8 月 29 日(土)・30 日(日)

開催方法: YouTube Live および Zoom を用いたオンライン開催

会場: 福島大学

※事前申込・参加費共に不要 (個別論題報告のみ 8 月 27 日までに事前登録、下記参照)

<大会スケジュール>

第 1 日目 8 月 29 日 土曜日 13:00～ YouTube 配信

内容:

- ・挨拶
- ・会長講演
- ・大会シンポジウム
- ・学会賞表彰
- ・国際交流講演

開催方法: 日本協同組合学会公式 YouTube チャンネルによる配信

<http://urx3.nu/ZoAU> (右の QR コードからアクセス)



第 2 日目 8 月 30 日 日曜日 9:30～15:00

内容:

- ・個別論題報告

開催方法: Zoom のウェビナーによる開催 (同時双方向)

申込方法: 下記 Google フォームより事前登録を 8 月 27 日までにお願いします。

(後ほど登録者に Zoom の招待コードを送付します。)

<https://forms.gle/XQEvv6kRQAUxotfe9> (右の QR コードからアクセス)



〔 実行委員会連絡先 〕

日本協同組合学会第40回大会実行委員会

委員長 荒井 聡 (福島大学食農学類)

事務局長 小山 良太 (福島大学食農学類)

〒960-1296 福島市金谷川1

福島大学食農学類

TEL・FAX 024-548-8387 メールアドレス koyama@econ.fukushima-u.ac.jp

※ 参加申込に関する問い合わせは、本ニューズレター冒頭の学会事務局へメールでお問い合わせください。

8月29日(土) 大会シンポジウム

日 時：2020年8月29日(土) 13:00～配信

開催方法：日本協同組合学会公式YouTubeチャンネル <http://urx3.nu/ZoAU> より配信

テ ー マ：不確実な時代における地域社会と協同組合

—震災原発事故から10年の福島と協同組合の歩みを踏まえて—

座 長：小山 良太 (福島大学)

< 座長解題 >

2011年3月11日に発生した東日本大震災から10年を迎えようとしている。福島の復興は中間地点に差し掛かっている。地震・津波に加え原子力災害の被害地域となった福島県においては、農地の復旧率(除染を含め営農再開可能な農地)55.6%、漁業産出額回復率46.7%に留まっている(福島県、ふくしま復興のあゆみ第23版、2018)。これは放射能汚染に伴い、長期間に及ぶ避難、放射性物質検査の実施、作付制限・出荷自粛、試験栽培・試験操業など原子力災害特有の被害を回復させることの困難性を表しており、まさに「社会変動」を体現している。

本学会では、2011年5月28日第30回春季大会「協同組合の社会的価値を問う—国際協同組合年と協同組合憲章—」(座長：富沢賢治・聖学院大学)において、第2報告「食糧問題に果たす協同組合の社会的役割」(小山良太・福島大学)、第3報告「自然環境保全とエネルギー問題に果たす協同組合の社会的役割」(河野直践・茨城大学)の中で、福島第一原発事故と食・農・エネルギー問題に関わる協同組合組織の機能と役割について検証した。これを受け、被災地福島において2013年5月18日第32回春季大会「原子力災害から農とくらしの復興を一食・エネルギーと協同組合間協同—」(座長：濱田武士・東京海洋大)を開催し、第1報告「福島原発事故から3年、福島県農業の再生の取り組み」(長島俊一・福島県農業協同組合中央会常務理事)、第2報告「原発事故と漁業の再生—原子力政策と日本漁業—」(二平章・茨城大学地域総合研究所客員研究員)、第3報告「放射能汚染問題とくらし・生活の再建」(熊谷純一・福島県生協連会長)、第4報告「地域エネルギーと協同組合」(高橋巖・日本大学)、第5報告「穀物採食や自然療法をとおした地域の命の営活動」(有馬克子・銀河のほとり代表)の報告を受け、原子力災害の長期性、分断性、不可逆性について検証し、協同組合間協同による復興の在り方を議論した。また、持続可能な地域社会の形成と協同組合研究(福島の今後を考える)部会においても、福島の復興の在り方とあわせて新しい地域社会形成に果たす協同組合の役割について検討を重ねてきた。

現在、被害地域に残る最大の課題は社会関係資本の損害が継続していることである。これまで地域で培ってきた産地形成に関わる投資、地域ブランドなど市場評価を高めるための生産部会活動、農村における地域づくりの基盤となる人的資源やそのネットワーク構造、コミュニティ、文化資本など多

種多様な社会関係資本が損害を被り、地域社会は危機の段階から変動を前提した構造に変化した。避難指示区域では十数年におよびこれら地域資源・社会関係資本を利用することが出来ない。この損失分をどのように測定するか、対策としてどのように穴埋めするか、このことは極めて重要な問題となる。現段階では、原子力損害賠償紛争審査会（原子力損害の賠償に関する法律第18条に基づいて文部科学省に臨時的に設置される機関、2011年4月11日設置）でもまったく手つかずの状況である。

原発事故という「危機」を経験し、福島県の被災者・住民は様々な局面で分断されてきた。放射能のリスクに関する考え方、事故直後に避難したのかしなかったのか、福島県産農産物を食べるのか食べないのか、福島で子育てを行うのか、避難指示解除区域に帰村するのか避難を継続するのか、賠償金を貰っているのか貰えないのか。様々な場面で分断が継続・深化している。それぞれ異なる意見を一つにまとめるためには時間がかかる。原子力災害の最大の損害は再生の準備のための時間を奪ったことに他ならない。緊急時の復旧段階から本格的な復興段階に移行するにあたり、このような損害と損失、損害の現象形態を整理した上での復興政策の策定が必要である。

原子力災害発災10年を機に検討されている放射能汚染対策、放射性物質検査体制の転換に対し、この間の「風評被害」状況及び流通構造の変化を踏まえた新たな検査制度、産業振興政策の構築とそれに基づく産地形成の在り方を検証する必要がある。そのためには震災10年の間に何が損なわれ、何が回復可能であったのか、原子力災害の損害構造を明確にすることが必要であり、原子力災害に伴い実施された様々な事業、補助の総括を行うことが求められる。震災前には戻れない福島の産地において新しい産地と流通システムを構築する必要がある。

このような中で、廃炉を進めるための汚染水（トリチウム水）の処理と地元漁業の復興（本格操業）が対立する事態が生じている。本稿では、震災9年の間に行われてきた農業農村における放射能汚染対策と復興の到達点を確認した上で、今問題となっている汚染水と漁業の問題も含め震災10年以降の協同組合間協同による復興政策の在り方について検討しておく。

第1報告『原子力災害から10年、新たな産地形成に果たす協同組合の役割』

小山 良太（福島大学食農学類）

第2報告『放射能汚染からの農地・農家・農業の再生』

石井 秀樹（福島大学食農学類）

第3報告『東日本大震災・原発事故から10年間の総括、避難・帰還の現場から』

丹波 史紀（立命館大学）

第4報告『原子力被災地域における農林水産業の復興過程と今後の課題』

原田 英美・則藤 孝志（福島大学食農学類）

第5報告『風評問題、トリチウム処理問題における生産・流通・消費の課題』

関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

8月29日（土） 学会賞表彰/国際交流

開催方法：日本協同組合学会公式YouTubeチャンネル <http://urx3.nu/ZoAU> より配信

内 容：

- ・学会賞表彰（学術賞1件、実践賞2件、学会誌奨励賞1件を予定）
- ・国際交流 韓国協同組合学会 会長 具丁玉氏 および
中国・社会科学院・農村発展研究所 からのビデオレターを放映予定

8月30日（日）個別論題報告

日 時：2020年8月30日（日）09：30～15：00

会 場：Zoomのウェビナーによる開催（同時双方向）※申込フォームによる事前申込制

○ 報告時間：報告20分、質疑10分

○ 第1報告：09：30～10：00 第2報告：10：00～10：30 第3報告：10：30～11：00

第4報告：11：00～11：30 第5報告：11：30～12：00

（昼休み ：12：00～13：00）

第6報告：13：00～13：30 第7報告：13：30～14：00 第8報告：14：00～14：30

第9報告：14：30～15：00

座長	報告順	報告タイトル	報告者(所属)
杉本 貴志 (関西大学)	第1報告	共済と保険の違いに関する論説の変遷について	岩田 恭彦(法政大学大学院)
	第2報告	中小企業組合における少人数総会開催方法の検討—新型コロナウイルス対策指導の現場から—	堀井 真理生(福井県中小企業団体中央会)
	第3報告	阿波人形浄瑠璃の発展と非営利組織の役割—徳島県勝浦町の事例をもとに—	段野 聡子(徳島大学) 松本 卓也(徳島大学人と地域共創センター)
前田 健喜 (日本協同組合連携機構)	第4報告	A Study on Production and Marketing Aspects of Cooperative and Non-cooperative Dairy Farmers in Bangladesh	MAYA Sultana(鹿児島大学大学院農学研究科) Ahmed Junayed(長崎ウエスレヤン大学) UddinYoshiharu Shiratake(長崎ウエスレヤン大学)
	第5報告	教育現場で外国人農業技能実習生を対象にした調査と対応した事例	林 彦輝(鯉淵学園農業栄養専門学校)
昼休み 12:00～13:00			
橋本 直史 (徳島大学)	第6報告	農産物小規模輸出産地における農協の役割に関する一考察	成田 拓未(弘前大学) 石塚 哉史(弘前大学)
	第7報告	地域における農協の持続可能性—高知県土佐町の施設再活用の事例から店舗統廃合の責任を考える—	阿高 あや(日本協同組合連携機構)
藤井 晶啓 (日本協同組合連携機構)	第8報告	福島県沿岸漁業復興の現局面—東日本大震災・東電原発事故後10年を迎えて—	林 薫平(福島大学)
	第9報告	協同のこころを再構築する対話運動2.0—JAファシリテーターによる対話の場の創造—	佐藤 和希(福島県農業協同組合中央会)

※ 個別論題報告の要旨は、事前に学会HPにアップしますのでご確認下さい。

※ 発表資料は申込者に限り、事前配付する予定です。

2020年度 日本協同組合学会会員総会要録

2020年度の会員総会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学会ニュースレター Vol. 32 No. 1(通巻84号)にてご案内したとおり、2020年6月17日までに書面表決書を提出いただき議決としました。

＜議決結果＞

- 第1号議案 2019年度事業報告(案)について (資料は後掲)
賛成69 反対0 で可決された。
- 第2号議案 2019年度収支決算(案)について (資料は後掲)
賛成69 反対0 で可決された。
- 第3号議案 2020年度事業計画(案)について (資料は後掲)
賛成69 反対0 で可決された。
- 第4号議案 2020年度収支予算(案)について (資料は後掲)
賛成69 反対0 で可決された。

第1号議案 日本協同組合学会 2019年度事業報告（案）

（2019年4月1日～2020年3月31日）

1. 各種会議の開催について

(1) 会員総会

2019年5月25日（土）駒澤大学

議案 2018年度事業報告・収支決算・監査報告、2019年度事業計画・収支予算、表彰規程の改正

2019年9月7日（土）関西大学 千里山キャンパス

議案 第20期理事・監事の選出

(2) 理事会

1) 第19期 第4回 2019年5月24日（金）駒澤大学

2) 第19期 第5回 2019年9月6日（金）関西大学 千里山キャンパス

3) 第20期 第1回 2019年9月7日（土）同

(3) 常任理事会

1) 第19期 第8回 2019年4月13日（土）JCA

2) 第19期 第9回 2019年7月4日（木）JCA

3) 第19期 第10回 2019年8月23日（金）JCA

4) 第20期 第1回 2019年11月8日（金）JCA

5) 第20期 第2回 2020年1月24日（金）JCA

6) 第20期 第3回 2020年3月24日（火）Web会議

2. 大会・研究会等の開催について

(1) 研究大会の開催と企画準備

1) 第38回研究大会（春季）

2019年5月25日（土）駒澤大学

社会的連帯経済をキーワードに協同組合実践・研究の課題および展望について、検討した。

特別講演「K. ポランニーと社会的連帯経済」若森みどり（大阪市立大学）
座長 柳澤敏勝（明治大学）

報告

「いまなぜ社会的連帯経済か？」藤井敦史（立教大学）

「世界の連帯経済の潮流」 田中滋 (PARC)
「社会連帯と協同組合」 高橋巖 (日本大学)
コメント 田中夏子 (農園 風と土、日本協同組合学会長)、
若森みどり (大阪市立大学)

2) 第 39 回大会 (秋季)

2019 年 9 月 6 日 (金) ~ 8 日 (日) 関西大学 千里山キャンパス
大会シンポジウム: 第 19 期の 2 年間の総括的なシンポジウムとして位置付け、
社会的連帯経済の取組みの核となる「協同」に焦点を当てて、地域社会におけ
る協同組合の位置と役割を確認し、グッドプラクティスに共通する視点を見出
すことを目指して、検討・議論を行った。

座長 走井洋一 (東京家政大学)

報告

「地域コミュニティ形成と協同組合運動—その経験と展望—」 田中秀樹 (広
島大学)

「地域に根ざした協同組合の実践とそれを捉える理論的枠組み」 北川太一
(福井県立大学)

「地域住民と共に仕事おこし・地域づくりに取り組むワーカーズコープの
挑戦」 田中羊子 (ワーカーズコープセンター事業団)

コメント 野口敬夫 (東京農業大学)、青木美紗 (奈良女子大学)

地域シンポジウム:

大阪の協同組合組織からの現状報告を伺いながら、都市部における「協同
組合間協同」の新たな可能性について、その実態や課題を検討した。

3) 第 39 回研究大会 (春季) と第 40 回大会 (秋季) の企画準備

第 39 回研究大会 (春季)

2020 年 6 月 6 日 (土) 大学生協連杉並会館

「協同組合と大学」をテーマに企画・準備

第 40 回大会 (秋季)

2020 年 8 月 28 日 (金) ~ 30 日 (日) 福島大学

実行委員長: 荒井聡 事務局長: 小山良太

(2) 部会活動

1) 女性と協同組合研究部会

秋季大会では、女性のエンパワメントに関する個別報告を数本提示した。

2020 年 3 月に部会開催を計画したが、感染拡大予防のため中止した。想定
していたテーマは、職員組織におけるダイバーシティ・マネジメント (特に
男女平等) に関する改革や実践事例。

2) 協同組合とグローバリゼーション部会

2019年8月25日(日) 於：梨の木舎(東京)

田中陽子(コープニュース編集長)

「大分の林業家・後藤國利さんと考えた「令和の 森の未来」

2019年4月15日(3月予定を延期し、2019年度事業としてネット配信)

内田聖子(PARC専務理事)

3) 持続可能な地域社会の形成と協同組合研究部会(福島部会)

2019年12月24日(火) 13:30~17:00 於：東京大学

シンポジウムを開催し、震災から8年経過した福島県農業・農村、漁業・漁村、林業・山村の現状をあらためて確認し、新たな産地形成の可能性と市場構造の変化への対応について、協同組合の現段階的役割を念頭に議論した。

なお、本シンポジウムは次年度の福島大学での大会につなげる新理論研究会としての位置づけを持たせた。

座長：小山良太(福島大学)

「東日本大震災・原発事故から8年間の総括、避難・帰還から」丹波史紀(立命館大学)

「福島県産農作物の流通構造の変化と新たな産地形成に果たす協同組合の役割」小山良太(福島大学)

「国内と諸外国における風評被害の実態とエシカル消費」関谷直也(東京大学/福島大学)

「福島県漁業とトリチウム処理水問題」林薫平

4) 協同組合教育研究部会

2020年1月28日(火) 18:00~20:00 於：JCA

報告

「協同組合陣営における大学生協の役割」岡本一朗(大学生協連)

「インターカレッジでの協同組合教育の可能性」志波早苗(くらしサポート・ウィズ)

「生協の人づくり支援と働き方改革」近藤麻子(全国生協・人づくり支援センター)

コメント

相良孝雄(協同総研) / 阿高あや(JCA)

(3) 新協同組合理論研究会

2019年6月30日(日) 13:20~17:45 於：ウインクあいち(名古屋)

「協同の再生と協同組合の役割~コミュニティにおける住民自治・公的制度と協同の資源のつながり」を労働者協同組合法の法制化に向けた動向と概要を共有するとともに、法制化後の協同組合研究や実践の展開に向けた課題や論点についても検討した。

座長：向井忍（地域と協同の研究センター専務理事）

報告：

「新城市・八名マルシェ（JA プラザ）をとおしてめざしていること」山本
いずみ（JA 愛知東女性部やな）

「八木山地区社協の経験からふりかえる住民自治と協同の力」清水孝子（各
務原市八木山地区社協）

「地域社会の変化をいかに協同組合事業・運動へと繋げるか？」向井清史
（名古屋市立大学大学院経済研究科・特任教授）

「協同組合研究における経済学的アプローチの有効性~サードセクター研
究会から」安藤信雄（中部学院大学経営学科・教授）

3. 学会誌「協同組合研究」の編集・刊行について

(1) 「協同組合研究」の刊行

1) 第 39 巻第 1 号（通巻 104 号）2019 年 6 月 15 日刊行

特集 1：第 38 回大会

特集 2：協同組合理論研究会（2018.12.2）

2) 第 39 巻第 2 号（通巻 105 号）2019 年 12 月 15 日刊行

特集 1：第 38 回春季研究大会

特集 2：協同組合理論研究会（2019.6.30）

(2) 編集委員会の開催

2019 年 6 月 15 日（土）（第 19 期第 6 回） 於：生協総研会議室

2019 年 11 月 24 日（日）（第 19 期第 7 回） 於：生協総研会議室

2020 年 2 月 15 日（土）（第 20 期第 1 回） 於：生協総研会議室

4. 国際交流について

(1) 中国社会科学院農村発展研究所との交流

学会誌の編集・発行について調査のため来日する予定であったが、中国側の事情により延期となった。

(2) 韓国協同組合学会との交流

2019 年 9 月 7 日開催の第 39 回大会に代表者 2 名が参加し、具会長より連帯の挨拶をうけた。

また、韓国協同組合学会が 2019 年 11 月 15 日に開催した大会に中村副会長が出席し、増田会長の連帯挨拶を代読した。

5. 2019 年度学会賞について

学術賞、奨励賞、学会誌賞：該当なし

学会誌奨励賞：

三浦一浩会員「戦後日本における電気生協」『協同組合研究』第 38 巻第 2 号
(2018 年 12 月)

実践賞：

大阪いずみ市民生協グループ

福井市農業協同組合

座間市就労準備支援事業「はたらつく・ざま」共同企業体

大阪府鯉巾着網漁業協同組合

6. 組織・広報・総務について

(1) 会員の状況 (2020 年 3 月 31 日現在)

普通会員 393 人 (前年度 399 人) (うち生涯会員 5 人)

学生会員 41 人 (前年度 52 人)

賛助会員 47 団体 (前年度 47 団体)

合計 481 会員 (前年度 498 会員)

(2) 広報活動

1) ニュースレターの発行

① Vol.31 No.1 (通巻 82 号) 2019 年 7 月 16 日発行
第 39 回大会案内号

② Vol.31 No.2 (通巻 83 号) 2019 年 12 月 15 日発行
第 20 期ごあいさつ号

2) ホームページの更新

随時更新し、会員への情報提供等をはかった。

3) 会員メーリングリストによる情報発信

GMO の freeml が終了したことをうけて、メーリングリストを Google グループに移行した。メーリングリストへの投稿先は以下の通りに変更した。
coopstudies@googlegroups.com

(3) 総務事項

1) 限定会員情報の提供

会員情報の管理と提供に関する検討をふまえ、新たに「日本協同組合学会限定会員情報」を会員に送付した。

2) 事務局

一般社団法人日本協同組合連携機構 (JCA) に学会事務を委託し、円滑な運営に努めた。

第2号議案 日本協同組合学会 貸借対照表 (案)

2020年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	2020年3月31日	2019年3月31日	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,069,714	5,747,766	1,321,948
普通預金	7,069,714	5,747,766	1,321,948
ゆうちょ銀行	512,319	557,980	△ 45,661
農林中央金庫	90,759	2,814,026	△ 2,723,267
三井住友銀行	6,466,636	2,375,760	4,090,876
前払金	0	41,528	△ 41,528
流動資産合計	7,069,714	5,789,294	1,280,420
資産合計	7,069,714	5,789,294	1,280,420
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,000	58,408	△ 56,408
前受金	0	88,800	△ 88,800
前受会費	72,000	63,000	9,000
流動負債合計	74,000	210,208	△ 136,208
負債合計	74,000	210,208	△ 136,208
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
伊東学会誌賞基金	810,000	830,000	△ 20,000
指定正味財産合計	810,000	830,000	△ 20,000
2. 一般正味財産	6,185,714	4,749,086	1,436,628
正味財産合計	6,995,714	5,579,086	1,416,628
負債及び正味財産合計	7,069,714	5,789,294	1,280,420

(注1) 会計基準は、公益法人会計基準に準拠しています。

(注2) 未払金：WEB会議利用料

(注3) 前受会費：2020年度会費/普通会員10名 2021年度会費/普通会員1名 2022年度会費/普通会員1名

日本協同組合学会 正味財産増減計算書(案)

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

日本協同組合学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,189,000	3,997,000	192,000
普通会員	1,974,000	1,908,000	66,000
学生会員	102,000	93,000	9,000
賛助会員	1,450,000	1,450,000	0
過年度分	663,000	546,000	117,000
事業収益	1,331,515	1,121,442	210,073
春季大会関係収入	472,500	356,300	116,200
参加費収入	167,500	152,500	15,000
交流会費収入	305,000	203,800	101,200
秋季大会関係収入	612,000	501,500	110,500
参加費収入	177,000	166,500	10,500
交流会費収入	435,000	335,000	100,000
研究会関係収入	0	32,000	△ 32,000
機関誌収入	205,615	199,242	6,373
報告要旨集収入	41,400	32,400	9,000
雑収益	600,058	45	600,013
基金戻入	20,000	0	20,000
経常収益計	6,140,573	5,118,487	1,022,086
(2) 経常費用			
事業活動費	3,250,925	3,472,414	△ 221,489
春季大会関係費	444,509	348,299	96,210
会場費・運営費	60,748	39,376	21,372
資料印刷費	98,974	86,443	12,531
旅費・交通費	1,084	0	1,084
交流会費	283,703	222,480	61,223
秋季大会関係費	833,348	1,318,923	△ 485,575
会場費・運営費	219,439	498,154	△ 278,715
資料印刷費	106,315	139,159	△ 32,844
旅費・交通費	267,594	327,077	△ 59,483
交流会費	240,000	354,533	△ 114,533
研究会関係費	65,200	107,723	△ 42,523
機関誌発行費	1,708,561	1,570,268	138,293
機関誌印刷費	880,169	782,676	97,493
機関誌発送費	99,322	99,848	△ 526
機関誌編集費	729,070	687,744	41,326
学会賞	120,000	71,201	48,799
学会誌賞	20,000	0	20,000
国際交流費	59,307	56,000	3,307
事務局費	862,862	846,766	16,096
資料印刷費	225,974	212,466	13,508
通信費	179,296	278,467	△ 99,171
旅費・交通費	232,268	233,230	△ 962
雑費	225,324	122,603	102,721
業務委託費	500,000	500,000	0
システム管理費	90,158	81,000	9,158
経常費用計	4,703,945	4,900,180	△ 196,235
評価損益等調整前当期経常増減額	1,436,628	218,307	1,218,321
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,436,628	218,307	1,218,321
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,436,628	218,307	1,218,321
一般正味財産期首残高	4,749,086	4,530,779	218,307
一般正味財産期末残高	6,185,714	4,749,086	1,436,628
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 20,000	0	△ 20,000
当期指定正味財産増減額	△ 20,000	0	△ 20,000
指定正味財産期首残高	830,000	830,000	0
指定正味財産期末残高	810,000	830,000	△ 20,000
III 正味財産期末残高	6,995,714	5,579,086	1,416,628

【参考】 日本協同組合学会 2019年度収支計算書（案）

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	進捗率	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	3,973,000	4,189,000	105%	
普通会员	1,900,000	1,974,000	104%	終身会員5名
学生会員	93,000	102,000	110%	
賛助会員	1,450,000	1,450,000	100%	47団体
過年度分	530,000	663,000	125%	
事業収入	1,392,400	1,331,515	96%	
春季大会関係収入	450,000	472,500	105%	第38回春季研究大会(5月25日(土)駒沢大学)
参加費収入	150,000	167,500	112%	1,500円×101名 2,000円×8名
交流会費収入	300,000	305,000	102%	交流会60名、昼食代65名
秋季大会関係収入	660,000	612,000	93%	第39回大会(9月6日(金)～8日(日)関西大学)
参加費収入	180,000	177,000	98%	1,500円×102名 2,000円×12名
交流会費収入	480,000	435,000	91%	交流会75名、エクスカージョン23名
研究会関係収入	60,000	0	0%	
機関誌収入	190,000	205,615	108%	機関誌購読料
報告要旨集収入	32,400	41,400	128%	第38回春季研究大会・第39回大会
雑収入	45	600,058		預金利息 2018年度第38回大会・2019年度第39回大会助成金
基金戻入	50,000	20,000	40%	伊東学会誌賞基金取り崩し
事業活動収入計	5,415,445	6,140,573	113%	
2. 事業活動支出				
事業活動費	3,829,000	3,250,925	85%	
春季大会関係費	570,000	444,509	78%	第38回春季研究大会(5月25日(土)駒沢大学)
会場費・運営費	100,000	60,748	61%	はがき代・アルバイト代・謝金等
資料印刷費	120,000	98,974	82%	要旨集・表彰状・はがき等印刷費
旅費・交通費	50,000	1,084	2%	登壇者交通費
交流会費	300,000	283,703	95%	交流会費・昼食弁当代
秋季大会関係費	1,280,000	833,348	65%	第39回大会(9月6日(金)～8日(日)関西大学)
会場費・運営費	450,000	219,439	49%	はがき代・アルバイト代・謝金等
資料印刷費	150,000	106,315	71%	要旨集・表彰状・はがき等印刷費
旅費・交通費	200,000	267,594	134%	登壇者交通費・エクスカージョン貸切バス・有料道路代
交流会費	480,000	240,000	50%	交流会飲食費
研究会関係費	120,000	65,200	54%	新理論研究会
機関誌発行費	1,599,000	1,708,561	107%	
機関誌印刷費	800,000	880,169	110%	第39巻第1号第39巻第2号
機関誌発送費	99,000	99,322	100%	第39巻第1号第39巻第2号
機関誌編集費	700,000	729,070	104%	第39巻第1号第39巻第2号
学会賞	110,000	120,000	109%	実践賞副賞30,000円×4件
学会誌賞	50,000	20,000	40%	学会誌奨励賞副賞20,000円1名
国際交流費	100,000	59,307	59%	第39回大会韓国協同組合学会参加者対応 韓国協同組合大会参加交通費
事務局費	960,000	862,862	90%	
資料印刷費	210,000	225,974	108%	ニュースレター・限定会員情報印刷費
通信費	300,000	179,296	60%	会費請求・ニュースレター等発送費
会議費	20,000	0	0%	
旅費・交通費	300,000	232,268	77%	常任理事会、編集委員会等の旅費交通費
雑費	130,000	225,324	173%	振込手数料・消耗品費等 ML移行作業
業務委託費	500,000	500,000	100%	JCA
システム管理費	100,000	90,158	90%	年度更新・改修作業
予備費	10,000	0	0%	
事業活動支出計	5,399,000	4,703,945	87%	
事業活動収支差額	16,445	1,436,628		
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
その他の財務活動支出	50,000	20,000		伊東学会誌賞基金取り崩し
財務活動支出計	50,000	20,000		
財務活動収支差額	△ 50,000	△ 20,000		
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 33,555	1,416,628		
前期繰越収支差額	5,579,086	5,579,086		
次期繰越収支差額	5,545,531	6,995,714		

監査報告書

私は日本協同組合学会の2019年4月1日から2020年3月31日までの2019年度貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに収支計算書について監査を行った。

監査の結果、上記の計算書類は、日本協同組合学会の2020年3月31日現在の経理状況を正しく示しているものと認める。

なお、2019年度より計算書類を公益法人会計基準に準拠した様式に変更しているが、変更は適正かつ適切に行われているものと認められる。

2020年5月13日

監事

田中夏子

監事

岩又博三

第3号議案 日本協同組合学会 2020年度事業計画（案）

（2020年4月1日～2021年3月31日）

1. 機関会議の開催予定について

- (1) 総会：会員総会は、書面議決にて開催する。
- (2) 理事会：第20期第2回を書面議決にて開催する。
- (3) 常任理事会：概ね2月に1度の頻度で開催する

2. 大会・研究会、および部会活動について

- (1) 新型コロナウイルス発生をふまえて、第39回研究大会(春季)は、来年度に持ち越す。また、第40回大会(秋季)は、オンライン方式で開催する。
- (2) 新協同組合理論研究会
- (3) 部会活動等
 - 1) 協同組合とグローバリゼーション部会
 - 2) 持続可能な地域社会の形成と協同組合研究部会（福島部会）
 - 3) 女性と協同組合研究部会
 - 4) 協同組合教育研究部会
 - 5) 経済学経営学研究部会（新設）
 - 6) 若手研究者ならびに地方支部における研究会等の開催を支援する

3. 学会誌「協同組合研究」の編集・刊行について

- (1) 「協同組合研究」の刊行
 - 1) 第40巻第1号（通巻105号）2020年6月15日刊行予定
第39回大会（関西大学）シンポジウム、投稿論文、書評ほか
 - 2) 第40巻第2号（通巻106号）2020年12月15日刊行予定
- (2) 編集委員会
役割分担をはかるなかで円滑な編集業務に努める

4. 国際交流について

韓国協同組合学会、中国社会科学院農村発展研究所との交流を継続する

5. 学会賞について

- 1) 2020年度学会賞の審査、選定、表彰を行う
- 2) 2020年度学会賞実践賞の募集（6月末日まで）、審査、選定、表彰を行う
- 3) 2021年度学会賞に向けた募集を行う（2021年2月末日まで）

6. 組織・広報について

(1) 広報活動

- 1) ニュースレターの発行
- 2) ホームページの随時更新
- 3) 会員メーリングリストによる情報発信
- 4) 内規の設定を踏まえた会員情報の提供

(2) 組織活動

入会案内パンフレットの活用をはじめとする会員の新規加入促進の継続、会費の円滑な納入に向けて対応を進める

(3) 事務局

JCA（一般社団法人 日本協同組合連携機構）に事務委託を継続し、円滑な運営に努める

第4号議案

日本協同組合学会 収支予算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

日本協同組合学会
一般会計

(単位:円)

科 目	2019予算額	2019年度決算額	2020年度予算額	前年比	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
会費収入	3,973,000	4,189,000	3,996,000	95%	
普通会員	1,900,000	1,974,000	1,956,000	99%	
学生会員	93,000	102,000	0	0%	申請により会費収入ゼロと見込んだ
賛助会員	1,450,000	1,450,000	1,450,000	100%	47団体
過年度分	530,000	663,000	590,000	89%	
事業収入	1,392,400	1,331,515	225,000	17%	
春季大会関係収入	450,000	472,500	0	0%	第39回春季大会 次年度へ延期
参加費収入	150,000	167,500	0	0%	
交流会費収入	300,000	305,000	0	0%	
秋季大会関係収入	660,000	612,000	0	0%	第40回秋季大会 8月28日(金)～30日(日)福島大学での開催はなし
参加費収入	180,000	177,000	0	0%	
交流会費収入	480,000	435,000	0	0%	
研究会関係収入	60,000	0	25,000	-	新理論研究会等(参加費1,000円×25名)×1回
機関誌収入	190,000	205,615	200,000	97%	機関誌購読料
報告要旨集収入	32,400	41,400	0	0%	
雑収入	45	600,058	45	0%	預金利息(2019年度は助成金60万円あり)
基金戻入	50,000	20,000	50,000	250%	伊東学会誌賞基金取り崩し
事業活動収入計	5,415,445	6,140,573	4,271,045		
2. 事業活動支出					
事業活動費	3,829,000	3,250,925	2,230,000	69%	
春季大会関係費	570,000	444,509	0	0%	第39回春季大会 次年度へ延期
会場費・運営費	100,000	60,748	0	0%	
資料印刷費	120,000	98,974	0	0%	
旅費・交通費	50,000	1,084	0	0%	
交流会費	300,000	283,703	0	0%	
秋季大会関係費	1,280,000	833,348	100,000	12%	第40回秋季大会 8月28日(金)～30日(日)福島大学での開催はなし
会場費・運営費	450,000	219,439	100,000	46%	
資料印刷費	150,000	106,315	0	0%	
旅費・交通費	200,000	267,594	0	0%	
交流会費	480,000	240,000	0	0%	
研究会関係費	120,000	65,200	120,000	184%	新理論研究会、部会活動費
機関誌発行費	1,599,000	1,708,561	1,750,000	102%	第40巻1号・2号
機関誌印刷費	800,000	880,169	900,000	102%	
機関誌発送費	99,000	99,322	100,000	101%	
機関誌編集費	700,000	729,070	750,000	103%	編集業務委託費、テープ起こし代
学会賞	110,000	120,000	110,000	92%	学術賞50,000円×1名、実践賞等30,000円×2名
学会誌賞	50,000	20,000	50,000	250%	学会誌奨励賞副賞
国際交流費	100,000	59,307	100,000	169%	
事務局費	960,000	862,862	1,180,000	137%	
資料印刷費	210,000	225,974	260,000	115%	ニュースレター・限定会員情報印刷費、学会カラー印刷代
通信費	300,000	179,296	200,000	112%	会費請求、ニュースレター発送費等
会議費	20,000	0	20,000		
旅費・交通費	300,000	232,268	450,000	194%	常任理事会、編集委員会等、JCA事務局大会交通費
雑費	130,000	225,324	250,000	111%	振込手数料・消耗品費等 WEB会議使用料
業務委託費	500,000	500,000	550,000	110%	JCA委託費
システム管理費	100,000	90,158	200,000	222%	年度更新・限定会員情報対応にかかるシステム変更作業
予備費	10,000	0	10,000		
事業活動支出計	5,399,000	4,703,945	4,170,000	89%	
事業活動収支差額	16,445	1,436,628	101,045	7%	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0	0		
2. 投資活動支出					
投資活動支出計	0	0	0		
投資活動収支差額	0	0	0		
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0		
2. 財務活動支出					
その他の財務活動支出	0	20,000	50,000	250.0	伊東学会誌賞基金取り崩し
財務活動支出計	0	20,000	50,000	250.0	
財務活動収支差額	0	△ 20,000	△ 50,000	250.0	
IV 予備費支出	0	0	0		
当期収支差額	16,445	1,416,628	51,045	3.6	
前期繰越収支差額	0	5,579,086	6,995,714	125.4	
次期繰越収支差額	16,445	6,995,714	7,046,759	100.7	